

【ROLEX BIG BOAT SERIES 遠征記】(抜粋)

2017年9月14日～17日

サンフランシスコ湾にて プチスター 竹澤彰規

昨年9月14日から17日にサンフランシスコ湾にて開催されたROLEX BIG BOAT SERIESに参加してきました。

成績は11艇中9位、同時期のイタリアワールド(163艇)とダブって艇数が減ってしまいました。残念。(去年は36艇)

あの素晴らしいロケーションにつられて行ったけど、やっぱり前評判通りのメチャ強風レースでした。

7レース全て20～30knot、対地スピード13～15knotオーバーのサーフィングレース(最速16.6knot)、シビレタ～。

何しろ、毎日朝11時の1レース目が10～12knotのちょうどいい風ではスタートせず風待ちし、14、15knot吹いてきてやっと予告信号ライフル、これには参った。ビッグボート用なのです。

プチスターのスタートはいつも良く、ほぼ3位以内でスタートするが、クローズでバンバン開けられて第1マークでは常にケツ2か3の状態でした。でも最終7レース目では15～16knotの風が第1マークまで維持したので、2、3位とほぼ同時の4位で廻航したが、次の上りでは25knot以上に吹き上がり、やはり8位がやっと。

でもこの春からの、和歌山移転も含めたトータル約70時間近いトレーニングは正解で、ほぼ基本動作はついていけました。20knotオーバーの全7レースでブローチングは3回のみ、すぐに復帰できたし。

もう強風ランニング・ジャイブ、全然怖くないです。

このSt.FYC(セント・フランシスコヨットクラブ)は全米No.1に輝くクラブだそうで、全ての設備には唖然としました。

クラブのホスピタリティは勿論ですが、周囲のロケーションや、参加者や主催者を含めると1000人近い毎日のパーティがクラブ内で行われるし、300人以上のクルーデイナーパーティーもクラブ内レストランでした。本当に驚きと感動の毎日でした。楽しかった。

90艇以上の11クラスに分かれたワンデザインレース艇が、アルカトラズ島を挟んだ2レースエリアを午前午後交互に使い、そこから中に設定した2か所のマーク(アルカトラズ島そのものもマークのひとつだし、ひとつはクラブ建屋の50yard沖(すぐそこ)にマークを打って、クラブデッキの観客席から間近に見られるようにしてある)を使った78種類もの事前に発表されたレースコースの内、1コースが決められ、スタート5分前に初めて掲示されるのには驚き、慌てふためいた。

58Fのマルチハルレーサー、52Fモノハルレーサー(Pac52)を始め、Far40クラスを含め、1レースエリアの50艇近くのBig Boatが各クラスに分かれて、目の前からどんどんスタートして行くのですからその光景はまさしく圧巻でした。また、狭いサンフランシスコ湾の中で、レース中もそれらのBig Boatとばんばんミートするのですから、緊張の連続やったし、多くのクルーがこちらを注目して笑顔で合図してくれていて、何か数百人のクルーが本当に一緒にこのレースを楽しんでいるといった感覚で、嬉しくなりました。

特筆すべきは奥さんの弘子さんです。全員の合宿の食事(朝食・昼弁当、そして最終日のバカでかステーキデイナーも)を頑張って作ってくれていました、本当に感謝です。

でも折り畳みミニチャリ持参で、サンフランシスコ中をケーブルカーや電気バスを使って走り回り、「何ストリート何の店が安い美味しい」などと、殆ど網羅していました。大したもんです。



クルーの藤永優君、林弘和君、川口晃波君、僕の夢に付き合ってくれてありがとう。

そして改めて、『壮行会』も含め、クラブの皆さんありがとう。是非皆さんもチャレンジしてください。



